

Ndasuna

んだすな



無邪気な笑顔が原動力

～子育て家族を地域みんなで支えよう～

NPO 法人メリーゴーランド(能代市)

2

2006
February

平成18年2月15日発行

発行/秋田県生活環境文化部地域活動支援室

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-2

TEL018-860-1520

編集/秋田県北NPO支援センター

〒017-0841 秋田県大館市字大町57

TEL0186-49-8553

<http://www.akita-kenmin.jp/>

north-support-center/

E-mail angec1@lo.ocn.ne.jp

無邪気な笑顔が原動力

～子育て家族を地域みんなで支えよう～

NPO 法人 メリーゴーランド(能代市)



健康な体は「食」が基本です。市民菜園を借りて畑作りに挑戦!畑に来た人が声をかけてくれてうれしかったです



高校生による職場体験の模様。お姉さんたちも子どもたちも大喜び



先生のおひざを独占!いすとりゲームみたいです。先生たちは一対一で接する気持ちを忘れずに日々の保育をしています



現在の保育園

小さな保育園「メリーゴーランド」

私たちは平成11年10月、ベビールーム メリーゴーランドを立ち上げました。一軒家を借りたのですが、どこからみても保育園には見えないんです(笑)。雑草が茂っていた空き地を整地し、砂場を作り、娘が通う幼稚園のバザーで購入した800円のジャングルジムを置いただけの園庭でしたが、随分かわいらしい雰囲気。玄関前の看板なども手の空いてるスタッフが「木の学校」に通って制作したり、手作りの温かい感じが魅力的な小さな小さな保育園が完成し、スタッフ全員満足していたことを思い出します。現在の場所には平成12年9月に移転しました。

NPO 法人化で地域に向けた活動を開始

近年、少子化という大きな課題に対して、各地でも

子育て支援に関する環境整備が徐々に整ってきています。保育事業を細々と続けながら、全国でたびたび起こる認可外保育施設の事故のニュースに胸を痛め安全面の対応に、より配慮してきました。しかし個人での活動にも限界があり、これからは地域の信頼と協力を得ながら独自の活動を広めていく必要性を感じていた頃、NPO 法人が行っている子育て支援活動の情報に目がとまりました。そこで地域とともに育ち合う活動を行い、開けた保育園に形を変えていこうと、平成16年4月NPO 法人として新たなスタートを切りました。

現在は保育事業と、平成17年から始めた子育て家族のための支援を行う広場事業を行っています。

温かい家庭の雰囲気を大切に

保育事業は生後2ヶ月から就学前までのお子さまをお預かりしています。「(お仕事をされている)おうち

今後の活動予定

次世代育成支援行動計画

「能代すくすく子育てプラン」学習会

移動ひろば「きしゃぼっほ」

- ・各町内の自治会館を利用して行う事業とします。
- ・依頼の申し込みを受けて広場スタッフ2名を派遣(保育士含む)。
- ・ワゴンいっぱい絵本やおもちゃを積んで伺います。月齢や年齢などにも対応していきます。

<目的>

- 1 自治会内において、子育てをしている家族が身近にいることを知っていただく。
- 2 一緒に過ごすことで親交を深める。
- 3 子育て家族以外にも参加を呼びかけ、子育て事情を自治会が把握できる。
- 4 家にこもりがちな子育て家族の存在を把握するとともに、移動ひろばをきっかけに育児に対して前向きに希望が持てるよう導く。

<目的>能代地域において協働で子育てを家庭を支えていく次世代育成活動計画の内容に対し、無関心な人が多く、地域をあげて支援活動をするためには、その必要性を学ぶ機会がなくてはけません。この学習会は、計画内容を学ぶと共に、個人・団体として協働にどう関わっていくか学習することを目的としています。

<対象者>個人・団体で次世代育成活動、子育て支援活動に関わっている方(行政・企業含む)・子育て家族・特に活動はしていないが関心がある方

日時(予定)

第2回 2月27日(月)

第3回 3月27日(月)

*いずれも 午後7時から午後9時を予定しています。



つどいの広場「ぶらんこ」での中華まん作り。出会いが支え合うネットワークへとつながることを信じています



「めりごレストラン」は野菜をたくさん使ったヘルシーメニュー!(クリスマスのオードブル)



地域に向けて行っている「どきどき!ちびっこパーク!」

の人がお迎えに来るまで、2番目のうちでお留守番をしましょう!という温かい家庭の雰囲気大切にしています。家庭での1対1で育児をする想いで、できる限り大人の手が足りなくなるよう配慮しています。物より人の環境が子育てには大切だと思います。

注目!新たな活動

「つどいの広場『ぶらんこ』」



広場事業は、全国で展開されている子育て支援活動の中で私たちが最も注目している活動です。私は活動事例を調べていくうちに、これこそ地域が協力し合っている支援だと確信し取り入れました。市内の空き店舗を利用して行っています。利用者が施設の維持をしていくシステムなので有料での利用ですが、これまで公的な子育て支援を無料で受けてきた市民にとつ

て有料制はハードルの一つです。そのハードルを越えられるくらいの活動を行って「自分も広場活動に参加したい」と手を挙げてくれる人が一人二人と増えてくれると嬉しいです。

子どもが集まる場所とはとにかく楽しくなければいけません。そして、命を預けることができる安全性、大人も子どもも園に一步入ると心温まる安心感。遊園地にある「メリーゴーランド」を思い浮かべてください。子どもたちの無邪気な嬉しそうな笑顔と、それを見守る大人たちの優しいまなざしと、夢のある温かいその空間が私は大好きで園名に選び、法人名にもその思いを寄せました。ぜひ、遊びにいらしてください。(佐々木久美子)

NPO 法人 メリーゴーランド

〔理事・園長/佐々木久美子 設立/平成16年 会員数21名〕

〔問〕 能代市宇昇平岱2-4 TEL 0185-55-2533

チームワークで除雪

能代市

除雪作業は重労働。困っているお年寄りが多いと聞いて、自分たちにはできないかと考えて、能代市社会福祉協議会内のボランティアセンターの紹介でひとり暮らしの高齢者世帯の除排雪を行いました。部活動の体力づくりで困っている方のために役立てることができ、今後でもできる範囲で実施していきたいです。

秋田県立能代北高等学校 ソフトボール部

◆校長/◆部員16名 監督/伊藤孝義



写真提供：北羽新報

部員たちの声「大変疲れるが、これをお年寄り1人でやるのは絶対無理。」「喜んでもらえてよかった。」「喜んでいるお年寄りの笑顔が忘れられない。」

ほっと地域にゆーす

今冬の豪雪により各地域で多くの除雪ボランティアが活躍しています。また、市町村により独自の事業を行っています。今回は除雪等の取り組みの一部をご紹介します。



除雪ボランティアの課題としてボランティアの安全性を考慮した除雪範囲やボランティア保険への加入があります。また、ボランティア＝無償が先行してしまい安易に要請するケースもいまでは見受けられました。しかし、この大雪をなんとかしようとする人が手と手を取り合い協力し合う姿を目の当たりにして、眠っていた地域力や支えあいながらともに生きていく本来のボランティアを実感しました。

大活躍！雪退治

大館市

大館除雪ボランティア「ハチ公スノーレンジャー」は、大館市ボランティアセンター（大館市社会福祉協議会）が主催し、その趣旨に賛同する市内の民間企業、公的機関、学校、社会福祉施設、町内等が参加し、冬期間における一人暮らし高齢者並びに、高齢者世帯等が抱えている雪の不安を解決しようと平成7年度から活動しています。今年度は、42団体が参加し、登録者は1,000名を越えています。平日から土・日の対応まで幅広い柔軟な活動が特徴で、各団体が活動しやすい日に除雪ボランティア活動を行っています。今冬は大雪のため、除雪依頼の電話はなりっぱなしで、12月から除雪ボランティア活動はフル回転しています。活動は屋根から落ちた雪の除雪が主で、生活圏の確保が基本的な活動であり、屋根からの雪下ろしはしていません。

この活動は困っている人を助けたいという尊い思いでつながっています。「協力したい!」の力強いパワーと「ありがたい」の温かみのある気持ちが更なる力を生み出していくことでしょう。

大館除雪ボランティア ハチ公スノーレンジャー

☎ 大館市社会福祉協議会 TEL 0186-42-8101

困ったときは お互い様

八竜町

八竜町ボランティア連絡協議会の呼びかけに即対応しました。普段の活動はゴミのクリーンアップや祭りの準備などですが、同じ地区の仲間なので黙って見過ごすわけにはいかない!困ったときはお互い様と対応しました。今後でもできる限りお手伝いしようと思います。

鵜川壮年部

◆設立/平成8年◆参加人数6名

☎ 八竜町ボランティア連絡協議会

TEL 0185-85-3121

喜んでもらえて うれしい!

藤里町

除雪ボランティアはこれまで2年生の学年活動として行っていたのですが、今冬は大雪とあって全校上げての冬のボランティア活動として行うことになりました。除雪活動は地域の1人暮らしの高齢者との交流を深められます。生徒たちは「喜んでもらえてうれしかった。」「雪の量が多くて大変だったけど夢中になってやった。楽しかった。またやりたい。」「感謝やねぎらいの優しい言葉をかけてもらったこともとてもうれしかったようです。毎年継続して行っていきたいと考えています。

藤里町立藤里中学校

◆参加団体17団体 ◆参加人数 約332名



心に響く ありがたい言葉

鹿角市

鹿角市社会福祉協議会が窓口となり、1人暮らしの高齢者世帯・身体者世帯で地域や近親者の支援を受けていない世帯の除雪を一般市民、企業や行政関係者が協力して行っています。若手のボランティアも多く参加しています。

参加者の声「『ありがとう』の一言が一番うれしい。」「人を動かすものは人の心だと感じます。」

鹿角市除雪ボランティア

◆参加団体17団体 ◆参加人数 約332名

問 鹿角市社会福祉協議会 TEL 0186-23-2165

市町村の取り組み

<北秋田市>高齢者や障害者が除排雪や屋根の雪下ろしを業者などに依頼する際の費用の一部を負担する「福祉の雪事業」。

<小坂町>除雪車が侵入できない狭い路地などを自治会の協力で除雪する取り組みで現場の状況に応じてドーザなどを無料配車する「自治会除雪デー」。

<藤里町>高齢者・身体障害者世帯の玄関から道路までの間と、緊急用非常口として1ヶ所を1メートルの幅での除雪「住宅除排雪事業」。

<能代市>自治会などの地域単位で除排雪を行う場合、バンブトラックが積み込み機械のどちらか一方をオペレーターつきで貸し出す制度。

福祉や防災について学ぶ

北秋田市(旧合川)

1・2年生と教職員が一丸となり、1人暮らしの高齢者・身体者世帯など約40戸や消火栓周辺などの除雪を行っています。身近なボランティア体験を通して高齢者福祉や防災について学ぼうと10年前から行ってきました。また、要請に応じて運動部が対応しています。生徒たちは地域の方々へ貢献することに喜びを感じているようです。地域に開かれた学校として地域とともにこれからも活動を継続していきます。

今後の課題として、今冬のような豪雪に見舞われた場合の対応や広域にわたるので配置・輸送の問題。生徒の安全確保が第一なので除雪対象者との要求のギャップ等があげられます。

北秋田市立合川高等学校

◆参加人数1年生94名・2年生89名・教職員37名



イベント情報

2月21日(火) パーチャル工房

調査研究事業の報告会

日時：平成18年2月21日(火) 午後1時30分
会場：遊学舎(秋田市上北手荒巻)
内容：☆先進団体視察の報告☆IT技能習得実践塾の報告☆アンケート調査の結果報告☆パネルディスカッション

参加費：無料 主催：秋田県

問 NPO法人 ほっと大仙
TEL 0187-62-7766(大仙市大曲)

2月25日(土)

ボランティア・市民活動講演会 対話の土俵づくり

35年/湯沢市岩崎地区まちづくり実践レポート

日時：平成18年2月25日(土)午後2時～午後4時
会場：プラザ杉の子(大館市有浦1丁目)
講師：高橋 岩五郎 氏(社団法人あすの秋田を創る協会
理事・秋田県南NPOセンター副理事)

参加費：無料

問 主催 大館市子ども支援協議会
TEL・FAX 0186-49-3480

2月26日(日)

地域における心の健康づくり講演会 ～ひとりで悩まないで、まず相談を～

日時：2月26日(日) 午後1時
会場：鹿角市福祉保健センター(鹿角市花輪)
講師：佐々木 久長 氏(秋田大学医学部保健学科 助教授)
参加費：無料(申込が必要)

主催：地域における心のセーフティネット

問 申 事務局 北秋田地域振興局大館福祉環境部
TEL 0186-52-3952 FAX 0186-52-3911

★募集情報★

スキー教室参加者募集

初心者から上級者まで。指導は秋田県スキー連盟認定
インターアルペン森吉・阿仁スキースクールインストラク
ターが行います。

<対象>小学1年生～小学6年生

<定員>20名(先着順)

<開催日時>2月25日(土)、26日(日)、3月4日(土)、5
日(日) 午前の部10時～12時、午後の部13時～15時
※半日、1日どちらの参加でも可

<実施場所>2月は阿仁スキー場

3月は森吉スキー場

<参加費>無料※リフト(ゴンドラ)代1,000円と保険料
100円は実費負担していただきます

問 申 NPO法人冒険の鍵クーン

TEL 0186-72-3168(代表/村田)

除雪ボランティア募集

秋田県災害ボランティア支援センターでは、大雪により
被害を受けている高齢者、障害者などの要援護者世帯
の除雪活動を行うボランティアを募集しています。

【募集期間】平成18年2月28日(水)まで。

※詳しくは秋田県社会福祉協議会のホームページの
「お知らせ」ページ(トップページの右上にリンクがありま
す)をご覧ください。

問 秋田県災害ボランティア支援センター
(秋田県社会福祉協議会)

TEL 018-864-2711 FAX 018-864-2701

http://www.akitakenshakyo.or.jp/

強カバックアップ

ニッ井町役場21創造課
企画情報係 主査

石岡 貢さん



Q. こちらの窓口ではどんなことをやっていますか。

A. 町の総合発展計画や過疎地域自立促進計画の策定、町広報誌の発行、各種統計調査などを行っています。総合発展計画では「地域づくりの推進」も基本施策の一つに掲げ、各課と連携しながら体制づくりや支援に取り組んでいます。

Q. ボランティア・NPO 活動の現状についてどのように感じていますか。

A. さまざまな団体が日々活発に活動していることと思います。しかし、個々の活動だ

けでなく、他団体との協力や連携、さらに地域住民、行政を巻き込んで小さな輪を大きな輪にする活動が大切だと感じます。

Q. ボランティア・NPO 活動の今後に望むことを教えてください。

A. 地域づくりを進めていくためには、行政・NPO・ボランティア・地域住民との「協働」が求められています。それぞれが単独に事業を進めていくのではなく、お互い出来ることを協力しながら進めていくことが大切だと感じます。今後はNPO・ボランティア団体の組織づくりも強化しつつ、あらゆる分野において、連携しながら「協働」を進めることが地域の活性化に結びつくと考えますので、お互いががんばりましょう。

平成18年度国際ボランティア貯金の寄附金の配分申請

対象：①民間の発意に基づく発展途上にある海外の地域の住民の福祉の向上に寄与するための援助に関する事業を実施する、営利を目的としない民間の団体であること。②日本国内に事務所を置き、かつ、代表者が定められ、意思決定及び活動の責任の所在が明確であること。

申込期間：平成18年2月16日(木)～3月15日(水)
当日消印有効

問 日本郵政公社金融総本部郵便貯金事業本部
ボランティア貯金・お客さま相談担当
TEL 03-3504-4137・4097
http://www.yu-cho.japanpost.jp/volunteer-post/vol_post/apply.htm

平成18年度公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成

対象：国立公園及び国定公園の自然保護上、重要な地域における自然環境の保全に資する実践的活動で地域の理解や参加協力を得られる広範なボランティア活動であること。特に大勢の人たちが参加できる機会を提供する活動や次の世代を担う子供たちを対象とした活動の実践を期待しています。

助成の趣旨に合致し、かつ次の条件を満たす団体とします。

- ・営利を目的としないこと。
- ・会則もしくは一定のルールを持ち、代表者等の定めがあること。
- ・団体の構成、役員、選任方法等の事業運営に重要な事項が、特定の者等の意志に従わずに決定、運営されること。
- ・申請団体(協議会)に、(財)自然公園財団(本部または支部)か地元自治体(関係機関を含む)または学識経験者のいずれかが構成員として参加していること。
- ・環境省地区自然保護事務所または都道府県庁の自然保護担当部局の推薦を受けられること。

助成額：総額500万円(1件50万円以内)

応募締切：平成18年4月1日

財団法人 自然公園財団

TEL 03-3592-1171 FAX 03-3592-1175

<http://www.bes.or.jp/>

カメイ社会教育振興財団 平成18年度 助成募集

◇社会教育等生涯学習の振興に関する活動に対する助成

対象：団体等が行なう芸術・文化及び教育活動について、地域における社会教育活動またはこれを促進するための事業で、東北六県で地域に密着した活動を対象とします。

助成金：1件当たり50万円程度(予定)

応募締切：平成18年4月15日(当日消印有効)

◇青少年の社会教育活動に対する助成

対象：社会教育団体、または青少年を対象とする団体が行う青少年の健全育成のための社会教育活動、またはこれを促進するための事業

助成金：1件当たり100万円以内(予定)

応募締切：平成18年4月15日(当日消印有効)

問 (財)カメイ社会教育振興財団 事務局

〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-1-23

TEL (022)264-6543 FAX (022)264-6544

<http://www.kamei.co.jp/museum/>

笑顔でチャレンジ

5月号でご紹介した大館市のほんご教室「COCOの会」で勉強しているメロディさんがJ.TEST 実用日本語検定(※)に見事合格しました。現在は勉強しながら地産地消の店「さくら」で接客の仕事に挑戦しています。



メロディカティバヤンさん

バレーボールが好きというメロディさんは、勉強をはじめて1年2ヶ月になります。「日本語は難しいけれどおもしろい。先生たちも親切なので勉強するのが楽しいし、話せるようになるのがとてもうれしい。」と喜びいっぱいの笑顔を見せてくれました。フィリピンから来たそうなので違いを伺ってみると「フィリピンは英語の勉強が小学校からあります。」また、「フィリピンでは公演などの始まる時間が決まっていますが必ず遅れます。」

今後の目標は「仕事をがんばりたいし、できれば大学にも入りたい。」と瞳を輝かせています。

※J.TEST 実用日本語検定は、外国人の日本語能力を客観的に測定する試験で、現在の自分の能力を知ることができ、次の学習目標がわかります。

Vivace

ヴィヴァーチェ：イタリア語で生き生きと快活に

しつけ重要!慈しむ心を育む わんこ生活はじめませんか?

私は以前よりしつけされた成犬をパートナードッグとして無料でお貸ししています。より多くの子供達に生き物を慈しむ心を育ててほしい。犬とともに暮らす生活の素晴らしさを体験させてあげたい。そして最後まで責任をもって育てることで何かを感じてくれればと思いはじめました。

『ぷっちゃんファミリー』はパートナードッグと共同生活を楽んでいる里親の皆さんが集まってできました。活動は犬と暮らすことで情操教育の育成につながることやしつけの重要性を伝えることです。



悩みを抱える愛犬家が集まり訓練士の方を迎えてしつけ方の教室が行われました



犬がちゃんと理解するまで根気強く教える必要があります

会員の中には犬と暮らしてから「子どもたちが生き物をとてもかわいがり大切にするようになった。」「無口な娘が犬の話題を通して会話が増えて明るくなった。」などの声があり、実体験を伝える場づくりを考えています。

また、大館市では昨秋ドッグランが整備されました。そこでしつけの大切さをより多くの皆さんに知ってもらおうと月2回ドッグトレーナーを迎え飼育相談やしつけ方を学ぶ講座(※)を開いています。"しつけ次第で愛犬は変わる"をモットーに少しでも多くのマナーを守る「犬都・大館」に恥じないような地域づくりを進めたいと思います。

(佐藤 亜紀子)

ぷっちゃんファミリー

◆代表/佐藤 亜紀子 ◆設立/平成15年 ◆会員数/15名

問 址 0186-42-3438

※地域のきらめき発掘事業補助金を受けています。

★★★★ お知らせ ★★★★★

北部男女共同参画センターが毎週木曜日定休日となりました。また、平日の開館時間が午前9時～午後7時になります。それに伴い、北部市民活動サポートセンターの相談日が下記の通り変更になります。

<相談日時>

月・火・水・金曜 (午前9時～午後6時)

土・祝日 (午前9時～午後5時)

<編集後記> 今回の大雪では雪の風情を楽しむ間もなく多くの事故が起これ、身近でも骨折された方や腰を痛めた方がいらして心よりお見舞い申し上げます。一方、困っている人を少しでも助けたいと除雪ボランティアに励む方々の温かさを感じました。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

情報をお待ちしています

県北のボランティア・NPO活動の情報をどんどん紹介します。電話やファックス、メールで情報をお寄せください。活動の輪を広げましょう。また、北部男女共同参画センターでは、貸室(研修室・グループ活動室)、本・ビデオの貸出、交流サロン、ロッカー、印刷機・コピー機の利用ができます。

〒017-0841

秋田県大館市字大町5-7

T E L 0186-49-8553

F A X 0186-49-8589

http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp



この印刷物は1,500部作成し、印刷経費は1部当たり23.3円です。